

## ○九州地方の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

N=622

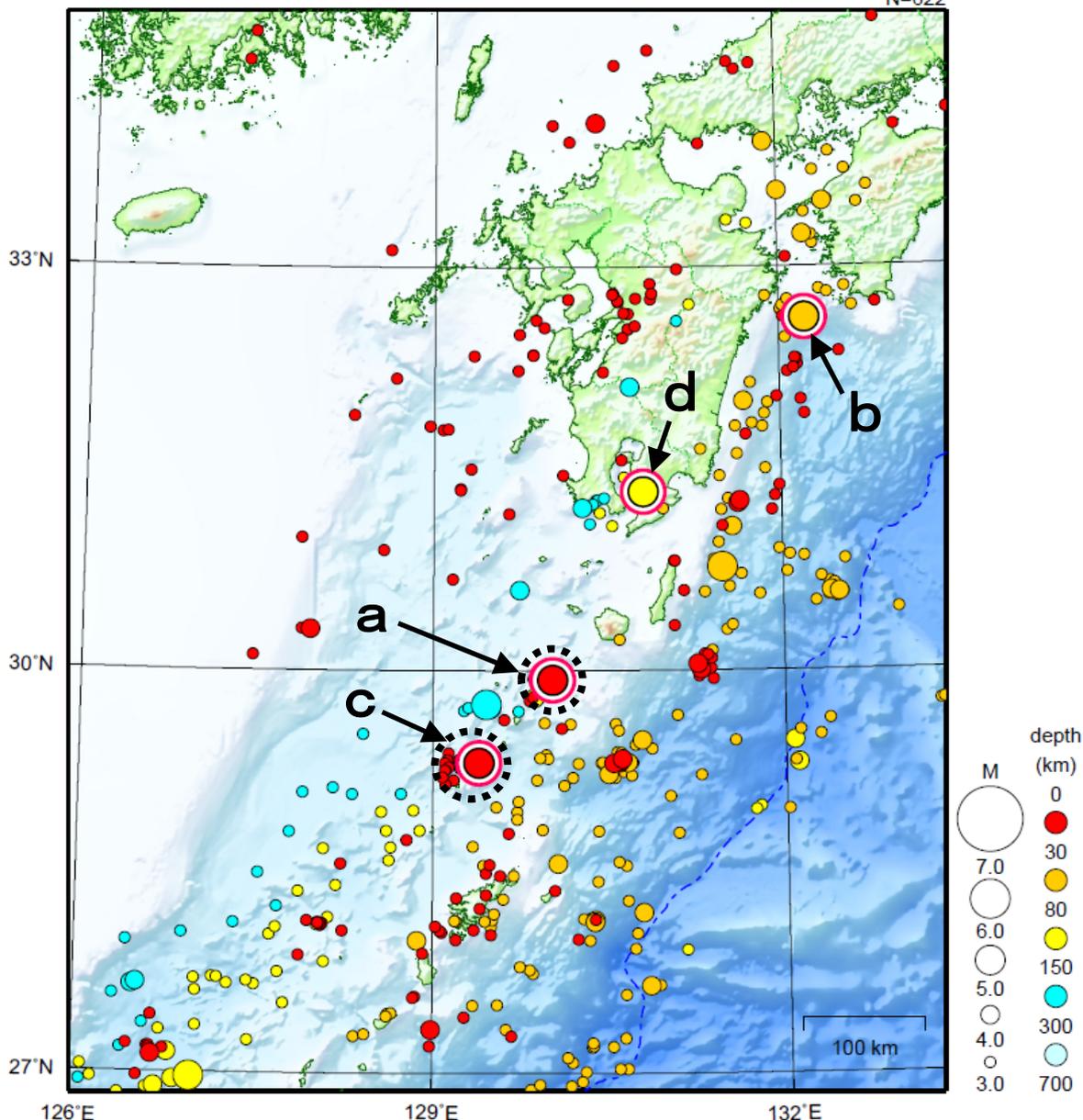


図9 九州地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02V2を使用

### 〔概況〕

2023年に九州地方で震度4以上を観測した地震は9回（2022年は6回）であった。

2023年中の主な活動は次のとおりである。

- a トカラ列島近海（口之島・中之島付近）では、4月1日頃からややまとまった地震活動があり、5月11日以降、地震活動が活発となった。6月中旬頃から発生する地震の規模が徐々に小さくなり、地震の発生数も減少していたが、11月7日頃から11月下旬にかけて地震活動がやや活発となった。4月1日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、180回（震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：9回、震度2：38回、震度1：128回）発生した。最大規模の地震は、5月13日16時10分に発生したM5.1の地震で、鹿児島県十島村（中之島）で震度5弱を観測した。この地震活動は、陸のプレート内で発生した。
- b 7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震が発生し、大分県佐伯市及び高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方及び中国地方で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

- c トカラ列島近海（小宝島付近）では、9月8日頃から9月中旬にかけて地震活動が活発となった。9月8日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、363回（震度4：2回、震度3：27回、震度2：85回、震度1：249回）発生した。最大規模の地震は、9月11日00時01分に発生したM5.3の地震で、鹿児島県十島村（悪石島）で震度4を観測した。この地震活動は、陸のプレート内で発生した。
- d 11月11日05時50分に鹿児島湾の深さ104kmでM5.0の地震が発生し、鹿児島県曾於市及び大崎町で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方及び四国地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

九州地方では、6日10時31分の地震により鹿児島県の中之島で8cm、南大隅町大泊で6cmの津波を観測した。また、9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、鹿児島県の中之島で31cm、南大隅町大泊で26cmなど、大分県、宮崎県及び鹿児島県の太平洋沿岸で津波を観測した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

九州地方では、鹿児島県の奄美市小湊で19cmなど、鹿児島県で津波を観測した。